



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西元 丈夫

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	42,973	100.5	371	46.6	338	56.5	134	△23.4
2022年3月期第2四半期	21,437	10.7	253	246.6	216	350.0	175	326.8

(注)包括利益 2023年3月期第2四半期 134百万円 (△23.4%) 2022年3月期第2四半期 175百万円 (326.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	0.47	—
2022年3月期第2四半期	0.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	9,764	6,913	70.8	23.99
2022年3月期	9,833	7,067	71.9	24.52

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 6,913百万円 2022年3月期 7,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	78,000	51.2	660	12.6	580	13.9	370	△32.2

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	289,747,982 株	2022年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,533,030 株	2022年3月期	1,532,428 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	288,215,284 株	2022年3月期2Q	289,168,990 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等もあり、社会・経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、急速な円安進行に伴う物価高騰に加え、半導体をはじめとした部材・原材料等の供給不足、ウクライナ情勢長期化の影響等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、米国の利上げによる影響等により下落基調で推移しているものの、インフレ加速による景気後退懸念や新型コロナウイルス感染症、地政学リスク等の影響から高値圏を維持しております。業績については金・白金族の集荷量が当初見込みを上回ったことや宝飾品の販売が好調であったことから堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続等、住宅購買環境は良好であるものの、地価高止まりや建築資材の高騰等、事業環境は厳しい状況の下、都内収益物件の販売を行う等により、業績は改善傾向で推移いたしました。機械市況においては、電気自動車や半導体関連等の受注増加から内外需ともに回復基調であったことから、業績は改善傾向で推移いたしました。コンテンツ事業においては、中国ロックダウンの影響により一部商品に納期遅延が生じたものの、人気タイトルのグッズ販売が好調であったことから、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は42,973,872千円(前年同四半期21,437,527千円100.5%増)、営業損益は371,370千円の利益(前年同四半期253,740千円の利益)、経常損益は338,919千円の利益(前年同四半期216,694千円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は、繰延税金資産の計上の一方で解体費用引当金繰入額及び減損損失の計上もあり、134,906千円の利益(前年同四半期175,399千円の利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は40,792,794千円(前年同四半期19,286,900千円)、営業損益は402,475千円の利益(前年同四半期172,106千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は331,405千円(前年同四半期53,037千円)、営業損益は1,717千円の損失(前年同四半期5,641千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は500,675千円(前年同四半期428,634千円)、営業損益は18,275千円の利益(前年同四半期4,693千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は1,319,630千円(前年同四半期1,646,472千円)、営業損益は171,779千円の利益(前年同四半期287,501千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より68,819千円減少し、9,764,553千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より15,015千円増加し、7,346,507千円となりました。

増加の主なものは、売掛金の増加(210,671千円から737,163千円へ526,491千円の増加)及び商品及び製品の増加(1,808,813千円から2,165,311千円へ356,498千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(4,095,519千円から3,250,435千円へ845,083千円の減少)及び原料及び貯蔵品の減少(632,262千円から447,523千円へ184,739千円の減少)であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より83,835千円減少し、2,418,046千円となりました。

増加の主なものは、繰延税金資産の増加(98,100千円から198,926千円へ100,825千円の増加)であります。

減少の主なものは、建物及び構築物の減少(458,851千円から241,214千円へ217,636千円の減少)であります。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より24,086千円増加し、2,447,095千円となりました。

増加の主なものは、短期借入金の増加(700,000千円から1,217,500千円へ517,500千円の増加)であります。

減少の主なものは、買掛金の減少(349,046千円から233,395千円へ115,651千円の減少)及び前受金の減少(1,089,731千円から763,044千円へ326,686千円の減少)であります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より60,420千円増加し、403,555千円となりました。

純資産の残高は、前連結会計年度末より153,327千円減少し、6,913,902千円となりました。

増加の主なものは、資本剰余金の増加(6,148,926千円の増加)であります。

減少の主なものは、資本金の減少(6,248,926千円から100,000千円へ6,148,926千円の減少)であります。

（キャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より845,083千円減少し、3,250,435千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は989,985千円（前年同四半期は601,987千円の使用）となりました。これは主に解体費用引当金の増減額100,000千円及び減損損失198,402千円等による資金の増加があったものの、売上債権の増加額526,491千円及び前受金の減少額326,686千円等の資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は54,584千円（前年同四半期は140,030千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出22,353千円等の資金の減少等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は199,486千円（前年同四半期は312,584千円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出252,143千円及び配当金の支払額283,383千円等による資金の減少があったものの、短期借入れによる収入517,500千円及び長期借入れによる収入220,000千円の資金の増加があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては2022年11月11日に公表の「2023年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,095,519	3,250,435
売掛金	210,671	737,163
商品及び製品	1,808,813	2,165,311
仕掛品	479,572	536,947
原材料及び貯蔵品	632,262	447,523
仕掛不動産	54,099	72,165
預け金	194	194
その他	90,426	176,834
貸倒引当金	△40,068	△40,068
流動資産合計	7,331,491	7,346,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,165,708	973,694
減価償却累計額	△706,857	△732,479
建物及び構築物(純額)	458,851	241,214
機械装置及び運搬具	526,661	551,158
減価償却累計額	△477,556	△481,276
機械装置及び運搬具(純額)	49,104	69,882
土地	1,472,391	1,472,391
その他	149,284	149,765
減価償却累計額	△118,502	△121,685
その他(純額)	30,781	28,079
建設仮勘定	24,500	9,075
有形固定資産合計	2,035,628	1,820,643
無形固定資産		
コンテンツ資産	—	7,200
その他	18,586	16,720
無形固定資産合計	18,586	23,920
投資その他の資産		
投資有価証券	100,071	110,071
出資金	120,585	120,615
敷金及び保証金	123,846	138,805
繰延税金資産	98,100	198,926
その他	5,063	5,063
投資その他の資産合計	447,666	573,481
固定資産合計	2,501,881	2,418,046
資産合計	9,833,373	9,764,553

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	349,046	233,395
短期借入金	700,000	1,217,500
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	64,286	64,286
未払金	30,069	28,119
未払法人税等	27,133	6,835
前受金	1,089,731	763,044
契約負債	2,986	642
その他	109,754	83,271
流動負債合計	2,423,008	2,447,095
固定負債		
長期借入金	106,129	73,986
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
解体費用引当金	—	100,000
預り敷金保証金	9,495	4,527
資産除去債務	207,455	207,455
その他	16,102	13,633
固定負債合計	343,134	403,555
負債合計	2,766,143	2,850,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	100,000
資本剰余金	—	6,148,926
利益剰余金	899,692	746,384
自己株式	△81,389	△81,407
株主資本合計	7,067,230	6,913,902
純資産合計	7,067,230	6,913,902
負債純資産合計	9,833,373	9,764,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	21,437,527	42,973,872
売上原価	20,374,936	41,575,387
売上総利益	1,062,590	1,398,484
販売費及び一般管理費	808,850	1,027,114
営業利益	253,740	371,370
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	13
国庫補助金収入	8,947	8,703
その他	1,550	2,625
営業外収益合計	10,510	11,342
営業外費用		
支払利息	3,246	5,136
休山管理費	37,123	35,612
その他	7,186	3,044
営業外費用合計	47,557	43,793
経常利益	216,694	338,919
特別利益		
固定資産売却益	593	399
特別利益合計	593	399
特別損失		
解体費用引当金繰入額	—	100,000
固定資産除却損	3,561	—
減損損失	—	198,402
特別損失合計	3,561	298,402
税金等調整前四半期純利益	213,726	40,917
法人税、住民税及び事業税	39,535	6,835
法人税等調整額	△1,208	△100,825
法人税等合計	38,327	△93,989
四半期純利益	175,399	134,906
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,399	134,906

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
四半期純利益	175,399	134,906
四半期包括利益	175,399	134,906
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,399	134,906

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	213,726	40,917
減価償却費	43,697	40,800
契約負債の増減額（△は減少）	201	△2,344
解体費用引当金の増減額	—	100,000
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	3,246	5,136
補助金収入	△8,142	△8,947
有形固定資産売却損益（△は益）	△593	△399
有形固定資産除却損	3,561	—
減損損失	—	198,402
売上債権の増減額（△は増加）	14,956	△526,491
棚卸資産の増減額（△は増加）	△689,259	△247,199
仕入債務の増減額（△は減少）	△80,911	△115,651
未払金の増減額（△は減少）	△1,643	△1,950
前受金の増減額（△は減少）	51,079	△326,686
預り金の増減額（△は減少）	47,671	3,623
その他	△170,761	△149,537
小計	△573,182	△990,341
利息及び配当金の受取額	12	13
利息の支払額	△3,246	△5,135
補助金の受取額	8,142	8,947
法人税等の支払額	△33,713	△3,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	△601,987	△989,985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の払込による支出	△110,980	△30
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△21,298	△22,353
有形固定資産の売却による収入	600	440
有形固定資産の除却による支出	△3,146	—
無形固定資産の取得による支出	△2,055	△7,200
敷金及び保証金の回収による収入	920	912
敷金及び保証金の差入による支出	△4,070	△16,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,030	△54,584
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	517,500
長期借入れによる収入	400,000	220,000
長期借入金返済による支出	△34,923	△252,143
自己株式の取得による支出	△50,023	△18
配当金の支払額	—	△283,383
その他	△2,468	△2,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	312,584	199,486
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△429,433	△845,083
現金及び現金同等物の期首残高	3,958,425	4,095,519
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,400	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,527,590	3,250,435

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（株主資本の金額の著しい変動）

2022年6月29日開催の第130回定時株主総会決議により、2022年8月15日付で資本金を減少させ、その全額をその他資本剰余金へ振り替えております。この結果、資本金が6,148,926,581円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が100,000,000円、その他資本剰余金が6,148,926,581円となっております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期を含む仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ 事業			
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	19,286,900	45,672	427,681	1,646,472	30,800	21,437,527	—
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,365	952	—	—	8,317	△8,317
計	19,286,900	53,037	428,634	1,646,472	30,800	21,445,845	△8,317
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	172,106	△5,641	4,693	287,501	△10,409	448,250	△194,510

	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高	
(1) 外部顧客への 売上高	21,437,527
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—
計	21,437,527
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	253,740

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△194,510千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△194,510千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ 事業			
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	40,792,794	324,040	499,905	1,319,630	37,501	42,973,872	—
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,365	770	—	—	8,135	△8,135
計	40,792,794	331,405	500,675	1,319,630	37,501	42,982,007	△8,135
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	402,475	△1,717	18,275	171,779	△5,493	585,320	△213,949

	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高	
(1) 外部顧客への 売上高	42,973,872
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—
計	42,973,872
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	371,370

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△213,949千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△213,949千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、建物及び構築物の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において198,402千円であります。